

道の駅物産展

羽曳が丘 ⇄ 地域交流調査へ ⇄ 大山伯耆町

観光農園

H18年大阪府健康福祉部からの紹介で鳥取県市町村長12名の方が、E&Lのまちづくり見学にこられました。当日は羽曳が丘と鳥取県の交流の架け橋をつくることがテーマになりました。

先般、鳥取県伯耆町関西事務所岡田所長様との面談で、大山中心の観光拠点などの説明を受け、現地訪問することにしました。羽曳が丘も大山の伯耆町も高齢化対策が課題です。この交流で若返る「まちづくり」を予感!!!!



いやしの風が吹き渡る郷大山

観光バスで伯耆町へ出発し、温泉・観光農園・自然・ゴルフ・観光などに分かれて行動。夜には羽曳が丘と伯耆町の交流会を開催します。

一方、E&Lでは羽曳野市の道の駅で大山特産物販売・古市古墳群やビオトープの案内などの交流を想定しています。7月末には伯耆町の岡田所長様の案内で一次調査に行きます。秋には参加者公募による調査体験旅行を予定しています。

ビオトープ

古市古墳群

惣菜の宅配

定期交流会

ゴルフ場

温泉

キャンプ

航空写真カラプリント

□①②③④等の配置写真

□価格 A-4 300円

A-3 500円

A-2 800円

□受付 第二集会所 遠藤

火曜・木曜 14時～16時

□航空写真は、案内図・安全マップ・環境資料などに利用できます。

□①～④以外の航空写真は別価格で名古屋航空㈱が撮影します。

羽曳が丘 E&L 管理部 西田

TEL & Fax 072-958-2023 へ

お問い合わせ下さい。

航空写真・撮影・印刷・受付中



サンプル写真は第二集会所に展示しています

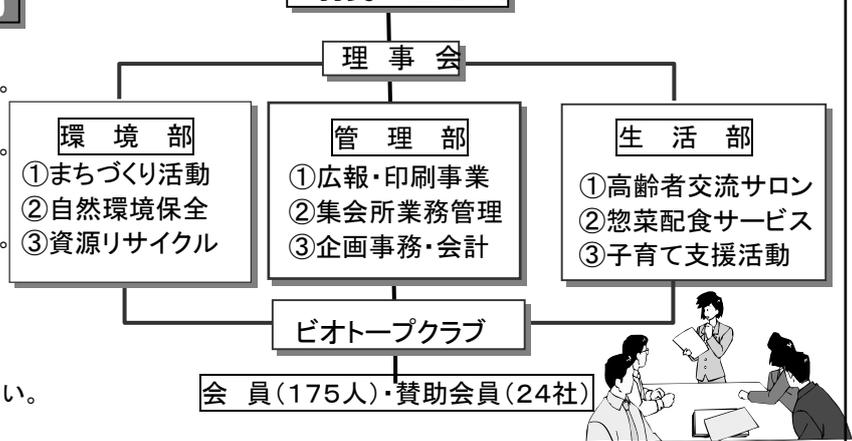
撮影 20.5.27



NPO法人 羽曳が丘E&L入会のご案内

- ①事業・研修会・交流会などに参加できます。
- ②会員の皆様からの活動情報を広報紙に掲載します。
- ③広報紙やホームページで賛助会員を掲載します。
- ④会員活動は非営利有償活動団体保険に加入します。
- ⑤年会費 正会員 1000円 1口以上
賛助会員 5000円 1口以上
- ⑥申込書に年会費を添えて集会所へお申込み下さい。
毎週火曜日・木曜日午後2時～午後4時
第一集会所 西野 958-4125
第二集会所 遠藤 958-6716
第三集会所 畑 958-9571
- ⑦または、各部理事(2P理事名簿)へお申込み下さい。
申込用紙は集会所・理事宅にあります。

羽曳が丘E&L



公共施設の提供と住民参加

先日、大阪府健康福祉部主催のアクティブシニア見本市の企画会議に出席しました。今年度は大阪府の予算削減の関係から、OMMビル開催が大阪府本庁正面玄関利用の無料会場に変更し、府民スタッフのボランティア参加の要望もありました。

E&Lではビオトープ整備は住民参加で実践しています。今後、行政は単なる経費節減でなく、スポーツ公園など公共施設は積極的に住民に提供し、住民参加による管理運営「協働」を推進すべきと思います。

編集雑記

住民と行政の公共サービス

「協働」とは住民が必要とする公共サービスを住民と行政の持っている特徴を活かして実践することです。不況と財政危機の中で、行政が、住民の力を借りて実践する必要があります。協働は共同ではありません。行政にない住民の力を活用することです。羽曳野市の市民活動会議で住民が実践する「まちづくり助成金事業」を提言しています。市民による地域事業を推進すると目に見える「協働」が実現すると思います。

市民参加で地域事業の実践を

横浜市では市民団体から地域事業を募集して上限500万円の助成金を支給しています。何の変哲もない雑草だらけの傾斜地が富士山を眺める展望台に変貌しました。地域の子どもから大人までが参加して地域の絆が強まりました。これが協働による地域事業です。

羽曳が丘の住民委員(1P記事)は、羽曳野市とビオトープの地域事業を協議しています。この地域事業が実現すると、関係機関から協働の地域事業として評価されると思います。